

研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「1年生も楽しめるオリジナル祭りをしよう」 (1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第3学年及び第4学年における評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、何事にも一生懸命に取り組むことができている。学級の係活動等でも、笑顔で楽しめる4年1組にするために、自分たちで話し合っ係を決め、一人ひとりが自分のやりたい係に所属して、アイデアを出しながら活動している。しかし、児童同士が関わる中で、相手の気持ちを考えずに、自分中心の言動をしてしまう児童や自分の考えを表現することに消極的な児童もおり、友達との関わり方に課題がある児童もいる。そこで、ペアやグループ対話を授業の中でも取り入れながら、自分の考えを相手に伝える活動を行ってきた。そうすることで、少しずつではあるが、友だちに自分の考えを伝え、相手の意見を聞き入れることができるようになってきている。

学級活動については、4月にオリエンテーションを行い、学級目標の「笑顔で楽しめる4年1組」になるために、議題を考える時間をとり、やってみたいことや変えてみたいことなどを考えることができていた。計画委員は輪番制にし、それぞれが役割を持ち、児童から出てきた議題をもとに月に1回程度、学級会を行ってきた。4月からクラスに転入生があり、1学期は「みんなで仲を深めるためのレクをしよう」や「みんなで協力できる遊びをしよう」など、クラスみんなが楽しく過ごすためにできることを考え、実行してきた。初めは、「出し合う」から「比べ合う」のところで、自分のやりたいことを通そうとして、「まとめる」までいかないこともあったり、やる事が決まっても納得できていなかったりすることもあり、話し合いがスムーズにできないことがあった。また、「出し合う」から「比べ合う」の流れで司会が話し合いを進めていても、「比べ合う」のところで、新たな意見が出てきて、再度「出し合う」になり、柱1での話し合いに時間がかかることが多々あった。しかし、回を重ねるごとに、提案理由に沿った内容を実施するためにはどうしたらいいのかを考えられるようになり、友だちの意見を受け止めながら、みんなで協働して取り組むことを実感してきている。また、国語科の学習で学んだ、「司会者」「提案者」「参加者」がそれぞれの役割を考えながら話し合う活動を通して、参加者が友だちの意見を聞き、それにつなげて発表する児童や分からないときには質問する児童の姿も見られるようになってきた。また、司会者はみんなから意見を出してもらえるように、全体になげかけたり、時間を意識しながらできるようになってきた。計画委員が事前に準備を行い、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話し合いの流れを意識して進めることには慣れてきて、少しずつ自分たちの力で進めようとする姿や心配なことや不安なことも安心して発表する姿が見られるようになってきた。

(2) 議題選定の理由

本議題は、社会科の学習の「地域で受け継がれてきたもの」で、お祭りについてふれることがあり、ここ数年コロナ禍で地元のお祭りもできていない状況だから、「秋祭りをしたい」「冬祭りをしたい」「文化祭をしたい」「おもちまつりをしたい」という児童の思いから「オリジナル祭り」として選定された。また、自分たちだけでなく、誰かを楽しませたいという相手意識もでてきたことから、今回1年生を招待して一緒にお祭りをする事になった。

学級会では、それぞれ「どんなお店にするか」、「自分たちも1年生も楽しむための工夫」という点について、自分の意見を友だちに伝え、合意形成する際には、相手の意見に寄り添い、お互いを認め合うことを大切にしながら話し合いを進められるようにしたい。

